

# 「道路小規模附属物の現況把握と維持管理の効率化」のご案内

～ ICT・OSMO・超音波探査を活用した効率化・負担軽減～

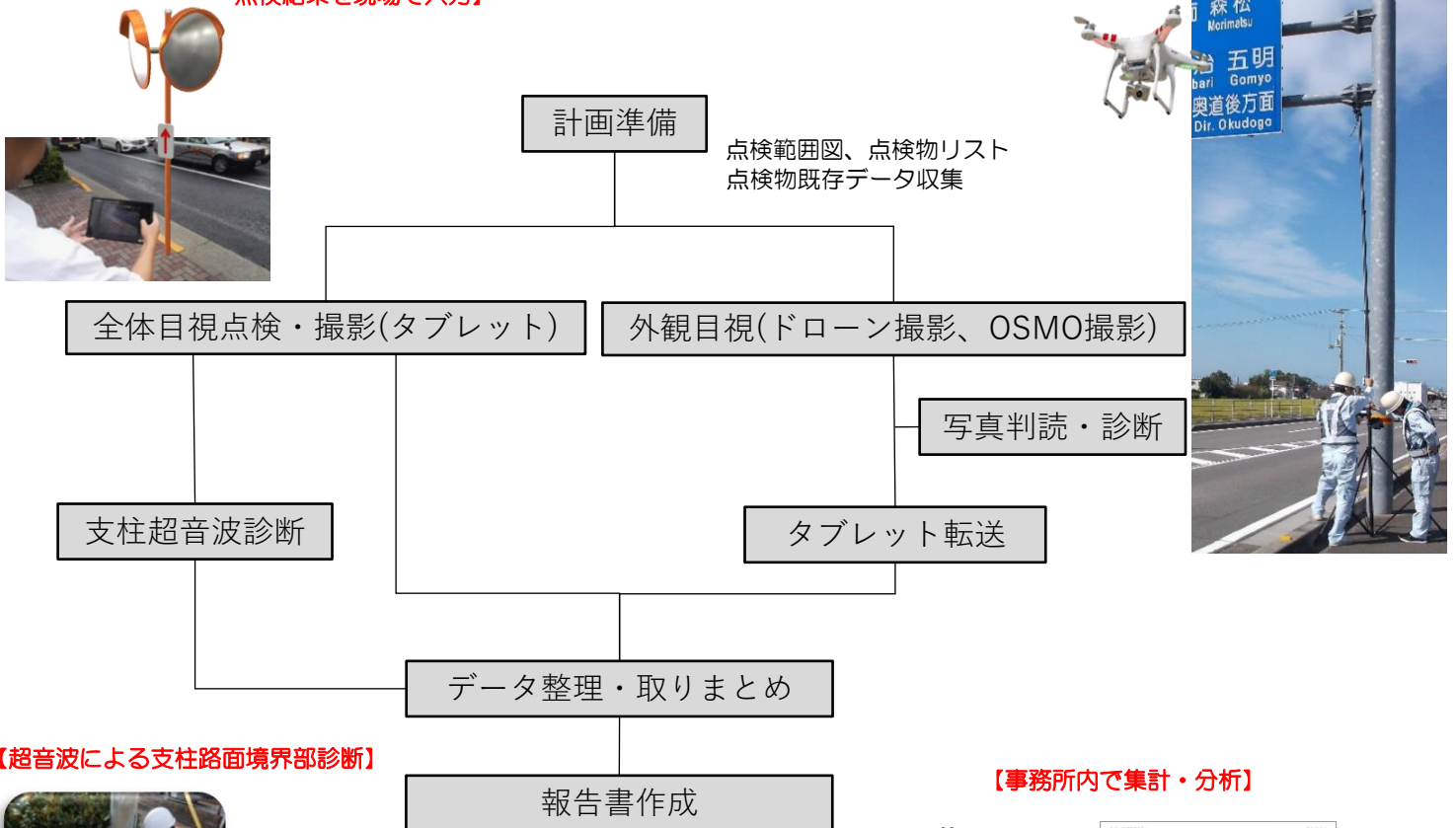
近年、高度成長期に整備された道路標識、道路照明、道路反射鏡などの道路小規模附属物が老朽化に伴い、錆による部材の落下や支柱の倒壊などの人的被害や車両事故が社会問題となってきました。

国土交通省は、道路小規模附属物の劣化による道路利用者及び第三者被害の恐れのある事故を防止し、安全かつ円滑な道路交通の確保を目的に、平成29年3月に「道路小規模附属物点検要領」を策定しました。しかし、多くの自治体では道路小規模附属物の維持管理が対処療法的に実施されてきたことから、施設の現状把握が十分になされていない上、保有数が膨大なため基礎資料の整備も大きな負担となっています。

このような状況を踏まえ本提案では、地場企業が官民連携してICT（タブレット）、OSMO、超音波探査を活用した「道路小規模附属物の現状把握と維持管理業務」の効率化と負担軽減をご提案いたします。

【タブレットによる現地調査  
点検結果を現場で入力】

【ドローン・OSMOによる撮影・写真判読】

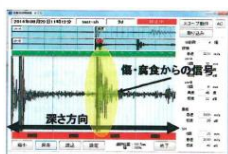


【超音波による支柱路面境界部診断】

【事務所内で集計・分析】



測定画像



一般社団法人 全国地域活性化支援機構

〒113-0034 東京都文京区湯島2-2-6 フジヤ三浦ビル7F

TEL:03-5689-2160 FAX:03-5684-0837

E-MAIL: info@chiiki-kassei.or.jp

<http://www.chiiki-kassei.or.jp/>

# 道路小規模附属物の現状把握・維持管理ツールの概要

## 【タブレットによる小規模附属物 現況把握点検システム】

### ICT活用で効率的に小規模附属物台帳整備・点検

小規模附属物の現況をタブレットで撮影し、諸元や点検結果を現地入力することにより、内業の大幅な省力化を実現

◆ 道路照明や標識、反射鏡などの台帳整備・点検は、現地を一つ一つ確認する必要がありますが、現地で確認した**結果の整理において**

ICT技術は効率的に寄与します。

◆ 当機構が推奨する「**道路巡回支援システム：sococa**」は、デジカメ記録からの台帳作成・点検資料作成業務を**約70%の**

**時間短縮とコスト削減を可能**とします。

◆ sococaは、**公共施設等総合管理計画**に施設の位置情報取得や簡易調査にも有効です。システムを簡易変更することで同じシステム内で**台帳整備も可能**となります。

◆ **農道橋**の位置情報取得、点検、**生活道路**の点検にも有効です。



## 【ドローン・OSMOによる撮影・写真判読】

従来、高所作業車を活用していた外観目視点検に

**ドローン・OSMO**で撮影し、

画像をリアルタイムにタブレットに転送、現地判読。

診断、結果の現地入力により大幅な効率化と負担軽減を実現。

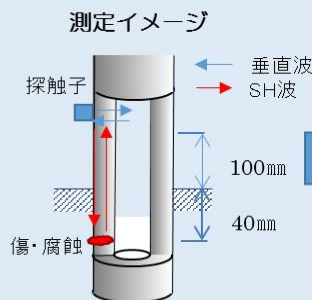


## 【超音波による支柱路面境界部診断システム】

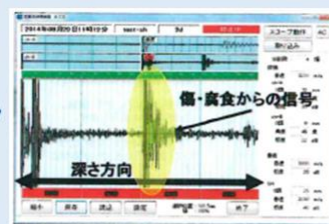


### ● 調査原理

垂直波モード、SH波モードの異なる2種類の超音波を同時に送受信させ、データを取り込む事ができます。垂直波モードでは探触子に当たった箇所の板厚の測定、SH波モードでは、地中にある腐食の位置を検出できます。



測定画像



### 【指導・協力企業】

(株) オリエンタルコンサルタンツ

(株) リンク・アルファ

(株) ユニコン

### 【お問合せ】

(一社) 全国地域活性化支援機構 担当：酒井 <tel:03-5689-2160> [email:info@chiiki-kassei.or.jp](mailto:info@chiiki-kassei.or.jp)

(株) リンク・アルファ 〒790-0952 愛媛県松山市朝生田町5-7-30-1403

代表：岡田 <tel:090-3269-4566> [email: keiichi.37@gmail.com](mailto:keiichi.37@gmail.com)